



西条まつり - 川入り -

西条まつり・新居浜太鼓祭り ブランド化推進事業の総括は？

(市民クラブ)

問

この事業は、愛媛県が西条市と新居浜市の観光客を増やし、その定着を図ることを目的にした3年間の事業であると認識している。

この事業の全体計画、実施内容、観光客の変化及び市の統括について問う。

答

この事業は、平成19年度から21年度までの3か年で西条まつり・新居浜太鼓祭りの情報発信、都市圏からの観光客数の増加、広域観光ネットワ

ークの形成などをコンセプトとして取り組まれたものである。

観光客が安心して観覧できる観客席や総合案内所、仮設トイレの設置、またポスター、パンフレットなどのPR資料の作成、旅行代理店へ旅行商品作成の要請などの事業を実施している。

西条まつりの川入り会場の観客数は、平成18年の約4万3千人が、平成21年には約5万人と伸びている。関東や関西でのPR活動により、入り込み客数や観光バスの増加など、一定の成果があったものと認識している。

総合的な取り組みを望む！ 発達障害に対する支援

(市民クラブ)

問

発達障害を持っている乳児・児童への支援について、専門知識を持ったコーディネーターの配置や、定期的に巡回相談を受けられるスーパーアドバイザー制度を導入するなど、総合的な取り組みを行うべきではないのか。

答

発達障害とは、通常、低年齢で発生する自閉症や

学習障害、注意欠陥・多動性障害などの脳の機能障害であり、乳幼児健診などを通じて早期発見と適切な保健指導などを行うとともに、保護者に対しては、個別相談、育児支援教室の実施、家庭訪問、専門医療機関・療育機関への紹介などを行っている。

また、保育所・幼稚園では、保育士を増員するなど、関係機関と連携しながら個別の指導計画により指導し、小学校では、特別支援コーディネーターを中心に、校内委員会や保護者の審議のもと、個別の指導計画・支援計画により指導を行っている。

現在も、発達段階において適切な対応や取り組みを行っているが、今後、生涯にわたって支援を行うには、保健・福祉・医療関係、学校関係、就労関係の各部門が一体となった行政運営を行う必要があると考えている。

子ども議会の開催は？

(公明党西条市議団)

問

全国の多くの市で子ども議会が開催されている。開催目的は、市に対して自分の夢や希望を話せる機会をつく

り、市役所の仕事への関心を高め、議会のしくみを勉強すること、まちづくりに進んで参加しようという意欲を高めてもらうものである。

このような、小学生を対象とした子ども議会を本市でも実施してはどうか。

答

子ども議会の開催については、学校など関係団体に対して協議を行ったが、開催手法や調整など多くの課題があり、効率的な教育効果が期待できないといった消極な意見があり開催されていない。

教育委員会では、子どもたちの社会性や自立性を伸ばすことは、子どもを育てる重要課題であると認識し、ふるさと体験授業、本物の舞台芸術体験授業など数多くの体験授業を実施している。

今後は、子ども議会の開催についても視野に入れながら、子どもに生きる力を身につける事業の効果的な取り組みを積極的に行っていきたい。

どうなるか..

周桑病院の公設民営化

(日本共産党西条市議団)

問

周桑病院の民営化問題は、平成21年2月に西条市医療基本構想で提起され、同年9月議会で公設民営化の条例改定案が可決をされると、医療法人専心会が民営化を担うこととされている。市は、病院事業の設置者として、責任を持って周桑病院の経営に関与していくとしているが、公設公営とはどのように違うのか。

答

周桑病院の収支改善には、医師数に見合った職員体制の構築が必要で、市民の医療への安心の確保と拠点病院として、周桑病院を存続させ守るための方策として、実現性・安全性・信頼性から、指定管理者制度の導入に取り組んでいる。

公設公営との違いは、指定管理者が病院運営のすべての責任を担う。市は建物などの維持管理や市債償還、医療法人への出資を行い、第3セクター方式での相互協力により、周桑病院を存続させ、経営の安定化を図るものである。

